## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ Keio Associated Repository of Academic resouces

Sub Title         Aligning Japanese and English grammatical constructions using frames-and-constructions analysis : toward multilingual "construction" building           Author         小原,京子(Ohara, Kyoko)           Publisher         慶應義塾大学           Publication year         2021           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)           JalC DOI         Abstract           本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文同士を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構立の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」所まを用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。           初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説 『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して「った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーパスに対して行った。 その結果、1)話し言葉、書き言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。ii)の立書に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis	Kelo Associated Repos	Itory of Academic resouces					
ioward multilingual "construction" building           Author         小原、京子(Dhara, Kyoko)           Publication year         2021           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)           JaLC DOI         Addression           Abstract         本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・申園語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ葉味や機能を持つ多言語の 構文同主を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手えを用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同主を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して様文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語致なの「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクトと体で覚定した、話し言葉コーパス(TEDトークのPF幕)と含言言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書言言葉コーパスに対して行った。 その結果、) 話し目童葉、書き言葉で画のたが対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。前)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語へ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。前日英語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致す場合には目英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis method seems valid to taser to frame mismath, and even when structural viergence exists, if the functions analysis method, i.e., the one that focuses on the head of a sentence in each anguage, sile year in the case of frame mismath, and even when structural viergence exists, if the functions of two constructions in typologically unrelated anguages; wile year in the case of frame mismath, and even when structural viergence exists, if the functions of two constructions in the vial anguages are the same, then the two constructions are comparable.	Title	マルチリンガル構文資源構築のための、フレーム・構文分析による日英語構文の対応付け					
Publication year         空221           Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)           JaLC DOI         Abstract           本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ箋味・機能を持つ多言語の 構文同主を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ箋味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーパスに対して行った。 その結果、i)話し言葉、書を言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。i)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語ペ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日裏語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project times to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis method seems valid not only for written language but also for spoken data; ii) The proposed frames and-constructions analysis method, i.e., the one that focuses on the head of a sentence in each language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated languages; iii) even in the case of frame mismatch, and even when structural divergence exists, if the functions of two constructions in the two languages are the same, then the two constructions are comprable.	Sub Title	Aligning Japanese and English grammatical constructions using frames-and-constructions analysis : toward multilingual "constructicon" building					
Publication year         2021           Juite         学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)           JaLC DOI         A           Abstract         本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・申国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンブル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文行した支払だ付ける必要があるが、一般に言語理型論的に異なる言語では供文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構大の日本活び比で構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で遺定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説「星の王子をま』の対別)の日本語版に対して代った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスへと書き言葉コーパスに対して行った。 その結果、)) 話し言葉・書を言葉英両両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。i)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語べ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日英語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には一致の神文が対応するとみなせることが判りした。 The project aims to build a multillingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis method seems valid not only for written language but also for spoken data; ii) The proposed frames and-constructions analysis method, i.e., the one that focuses on the head of a sentence in each language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated languages; ii) even in the case of frame mismatch, and even when structural divergence exists, if the functions of two constructions in the two languages are the same, then the two constructions are comparable.           Notes	Author	小原, 京子(Ohara, Kyoko)					
Jittle         学事振興資金研究成果実績報告書(2020.)           JaLC DOI         本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・中国話などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文同士を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(下DLトークの字幕)と書き言葉コ ーパスと書き言葉コーパスに対して行った。 その結果、)話し言葉・書を言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。ii)のの主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語ペ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日英語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 . The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatic drames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis method seems valid not only for written language but also for spoken data; ii) The proposed frames and-constructions analysis method, i.e., the one that focuses on the head of a sentence in each language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated languages; ii) even in the case of frame mismatch, and even when structural divergence exists, if the functions of two constructions in the two languages are the same, then the two constructions are comparable.	Publisher	慶應義塾大学					
Jalc Dol           Abstract         本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持う多言語の 構文同士を対応付ら必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する目英語文の「フレーム・構文分析」を行き、マルチリンガル構文 演構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーパス(広対して行った。 その結果、前乱し言葉・書き言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。前文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語べ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。"11日英語で文構造と主部の意味が異な る文句士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis method seems valid not only for written language but also for spoken data; ii) The proposed frames and-constructions analysis method, i.e., the one that focuses on the head of a sentence in each language, seems valid to tork for corresponding constructions in typologically unrelated language, seems valid to tork for corresponding constructions in typologically unrelated language, seems valid to tork for corresponding constructions in typologically-unrelated language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically under a dof a sentence in each language, seems valid to contructions in the wo languages are the same, then the two constructions are comparable.           Notes         Genre         Research Paper	Publication year	2021					
Abstract         本研究の究極の目的は、現代日本語の構文を、「フレーム知識」を介して英語・独語・スウェー デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文同士を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説『星の王子をま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーパスに対して行った。           その結果、i)話し言葉、書き言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。ii)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction" that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.           Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.           The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages, seems valid to search for corresponding constructions in typologically unrelated language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated language; seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated language; seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated language; seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelate	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)					
<ul> <li>デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文同士を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーバス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーバスに対して行った。 その結果、1)話し言葉・書き言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。ii)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語ペ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日英語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 ひてくれっても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日英語のような言語へ アに対しても対応する構文が可定できることが判明した。iii)日英語のような言語へ アに対しても対応する構文が可定できることが判明した。iii)日英語のような言語へ アに対しても対応する構文が可定できることが引いた。iiii日 ないまのまれにtions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames.</li> <li>Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.</li> <li>The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically-unrelated language, seems valid to search for corresponding constructions in the house on the head of a sentence in each language, seems valid to search for corresponding constructions in typologically-unrelated languages; iii) even in the case of frame mismatch, and even when structural divergence exists, if the functions of two constructions in the two languages are the same, then the two constructions are comparable.</li> </ul>	JaLC DOI						
Genre Research Paper	Abstract	デン語・中国語などの言語類型論的に異なる言語の構文と対応付け、マルチリンガル構文資源を 構築することである。マルチリンガル構文資源を構築するには、同じ意味・機能を持つ多言語の 構文同士を対応付ける必要があるが、一般に言語類型論的に異なる言語間では構文の対応付けが 困難と考えられている。本研究では、「フレーム・構文分析」手法を用いれば、構造は異なるが 同じ意味や機能を持つ日英語間の構文同士を対応付けられることを検証する。 初年度の2020年度は、1)日本語文に対して構文アノテーション(注釈付け)を行い、2)それ に基づき対応する日英語文の「フレーム・構文分析」を行った。1)を、マルチリンガル構文資 源構築共同プロジェクト全体で選定した、話し言葉コーパス(TEDトークの字幕)と書き言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパス(小説『星の王子さま』の対訳)の日本語版に対して行った。2)を、上記の話し言葉コ ーパスと書き言葉コーバスに対して行った。 その結果、i)話し言葉・書き言葉の両方に対して「フレーム・構文分析」の手法が有効であるこ とが判明した。ii)文の主部に注目することで、言語類型論的に異なる日本語と英語のような言語ペ アに対しても対応する構文が同定できることが判明した。iii)日英語で文構造と主部の意味が異な る文同士でも、文の機能が一致する場合には日英の構文が対応するとみなせることが判明した。 The project aims to build a multilingual "construction," that is, a network of related constructions, by linking grammatical constructions in Japanese with those in English, German, Swedish, Porgueses, and Chinese via semantic frames. Specifically, the project tries to demonstrate the validity of frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English. The findings in 2020 involve the following: i) the proposed frames-and-constructions analysis to search for corresponding constructions in typologically unrelated languages such as Japanese and English.					
	Notes						
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=202000008-20200042	Genre	Research Paper					
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=202000008-20200042					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2020 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

2020 -	千皮 于	- 尹派央頁金	(個八切	元)	研究成果美顏報告書		
研究代表者	所属	理工学部	職	姳	教授	補助姻	500 (枯日)エロ
	氏名	小原 京子	氏名	(英語)	Kyoko Ohara	— 補助額	500 (特B)千円
			研究課題	(日本語	吾)		
マルチリンガル	構文資源構築	のための、フレーム・構	文分析による	日英語樟	文の対応付け		
			研究課題	10(英訳	)		
Aligning Japa "constructicon		nglish grammatical c	onstructions	using f	rames-and-constructions	analysis: Towa	rd multilingual
			1.研究成場	果実績の	概要		
異なる言語の 構定する。本を な持っ。本を な持っ。本を なうる。本を なうる。本を なたる。 なたを ない なることを ない 本で なることを ない なることを ない なることを ない なることを ない なることを ない なることを ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない なることで ない ない なることで ない ない なることで ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	構文と対応付け 語の構文同士 では、「フレー 証する。 20 年度た。1)を パス(小説『星 話しこ言葉・書きる が異なる文同士	・マルチリンガル構文 を対応付ける必要がある ム・構文分析」手法を用 日本語文に対して構文 、マルチリンガル構文 の王子さま』の対訳)の 言葉の両方に対して「こ 日本語と英語のようなま でも、文の機能が一致	<ul> <li>資源を構築する</li> <li>るが、一般に言う</li> <li>いれば、構造(</li> <li>マノテーション</li> <li>資源本語</li> <li>フレーム・構文分</li> <li>言る場合にはし</li> <li>研究成果実</li> </ul>	った語は (パプロ) うて日 積異 注ジンイ いうて日 積 のの成本 で 和 まる で れ も英 の 成 構 観 で し 、 に い て 、 い う て 日 満 れ し 、 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		原を構築するにに 文の対応付けが 英語間の構文に き対応する日英 第コーパス(TED コーパスと書き 引した。ii)文の主 が判明した。 ドが判明した。	は、同じ意味・機 困難と考えられ 司士を対応付け 語文の「フレー トークの字幕) 言葉コーパスに 部に注目するこ 日英語で文構造
The proiect a	ims to build	a multilingual "constru	ucticon." that	is. a r	etwork of related constru	ctions. by linki	ng grammatical
					es, and Chinese via semanti		ig granmation
		es to demonstrate th unrelated languages su			and-constructions analysis Iglish.	to search for	corresponding
language but al of a sentence i the case of fra	so for spoken n each languag me mismatch,	data; ii) The proposed ge, seems valid to searc	frames-and-co ch for correspo ural divergence	onstructi nding co	structions analysis method s ons analysis method, i.e., the nstructions in typologically- if the functions of two cons	e one that focus unrelated langua	es on the head ages; iii) even in
			3. 本研究課題	題に関す	る発表		
発表者 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題 (著書名・)		(‡	発表学術誌名 昏書発行所・講演学会)	学術誌 (著書発行年)	発行年月 月・講 <b>演</b> 年月)
Kyoko Ohara			Talk Parallel Frames-and-	Interna 2020:	tional FrameNet Workshop Towards a Global		
Kyoko Ohara			aning: Using	Constru	uction Annotation Workshop	October, 2020	
Kyoko Ohara		Identifying and constructions in unrelated languages	Aligning typologically-		up Session, Constructior tion Workshop	November, 202	20